

平成30年度  
第2回 理事会議事録

平成30年 6月 8日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 平成30年度 第2回理事会議事録

1. 日 時 平成30年 6月 8日 (金) 12:00~12:30

2. 場 所 鉄鋼会館 805号会議室

3. 構 成 員 15名

4. 出席構成員 14名 (別紙 出席者名簿参照)

## 5. 議事次第

- (1) 開会の辞
- (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
- (3) 本日のスケジュール確認
- (4) 会長挨拶
- (5) 前回理事会の議事録確認
- (6) 議案の審議
  - 1) 第1号議案 新規賛助会員の入会承認の件
  - 2) 第2号議案 第51回通常総会 議案書確認の件
- (7) その他事項
  - 1) 構成員登録状況
  - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
  - 3) 主要会議日程
  - 4) 支部報告
- (8) 閉会の辞

## 6. 議事要旨

### (1) 開会の辞

進行役の齊藤専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

齊藤専務理事より、本理事会は、村山副会長が欠席されているが、全理事15名のうち14名が出席されており、定款第36条(理事会の定足数)に基づく成立要件となる定足数が満たされている旨、報告された。

### (3) 本日のスケジュール確認

本理事会終了後開催される、全鉄評総会、全構協総会等 本日のスケジュールが議案書[理30-2-他5] (p21-22)により確認された。

#### (4) 会長挨拶

米森会長より「本日は、総会をはじめ、夕方まで予定が詰まっておりますが、円滑に進むようご協力をお願いしたい。」との挨拶があった。

#### (5) 前回理事会の議事録確認

齊藤専務理事が要点のみ読み上げ、確認、了承された。

#### (6) 議案の審議

##### 1) 第1号議案： 新規賛助会員の入会承認の件

(株)トーネジより当協会賛助会員として入会希望があり、これを受諾したい旨、議案書[理 30-2-議 1] (p2-3)にそって齊藤専務理事から説明があり、反対意見はなく承認された。

##### 2) 第2号議案： 第51回通常総会 議案書確認の件

第51回総会議案書の項目及び主要点等について、齊藤専務理事より説明され、意見、質問等はなく、当日の総会は本議案書により進めることが承認された。

#### (7) その他事項

##### 1) 構成員登録状況

平成30年6月1日時点の構成員数は、2,211社で、前回報告時(5月22日時点)より10社増加したこと等が、議案書[理 30-2-他 1] (p5-9)にそって齊藤専務理事より報告された。

##### 2) 着工面積と推計鉄骨需要量

4月の鉄骨推計需要は43.9万トン(前年同月比1.3%減)であること等が、議案書[理 30-2-他 2] (p10)により事務局から報告された。

##### 3) 主要会議日程

議案書[理 30-2-他 3] (p11)により確認された。

##### 4) 支部報告

###### 〔北海道〕

- ・5月までの積算重量は、64,700トンで対前年比では89%だが、平年比では101%であった。
- ・手持工事量も多く、Hグレードファブは、年内は満杯で来年の商談を行っている。Mグレードも道東では年内、その他地区も半年分の仕事を確保している。
- ・本州の商社が道内ファブに引合いを出している。
- ・価格は採算レベルを維持している。

###### 〔東北〕

- ・前回報告時から大きな変化はない。
- ・5月に入り、地域により稼働率のバラツキがみられるようになったが、平均的には高いレベルを維持している。

- ・角形鋼管をはじめとして、材料納期の長期化がみられ、材料メーカーに対し納期厳守を依頼するとともに、客先に対しても前広に状況説明を行うことが肝要となっている。

#### [関東]

- ・各ファブとも手持工事量は多く、Hグレードは、年内は一杯。Mグレードも5月までは手薄なところもあったが、最近ではかなり埋まっているようで、2、300トンで受け手が見つからない物件もある。

#### [北陸]

- ・3県ともオーバーフローに近い繁忙状態が続いており、相互応援で凌いでいる。
- ・このような中で、労基署による労働条件の監視・監督が強化されており対応に苦慮している。

#### [中部]

- ・4県とも多忙を極めている。Hグレードファブは来年夏まで、Mグレードは年内、R及びJも困らない程度の仕事を確保している。
- ・価格は安定しているが、材料価格が上がっている中で加工費が食われる形になっている。
- ・工事全体の工程遅れの影響で、工場の工程管理が難しくなっている。
- ・JASS6改定にともなう勉強会を開催し、国土交通大臣認定の評価基準の改正とともに周知に努めている。

#### [近畿]

- ・前回報告から大きな変化はない。発注量は多く仕事量は十分である。
- ・材料の納期長期化、人手不足、輸送力不足が問題となっている。

#### [中国]

- ・岡山県、島根県の仕事量が、公共物件、民間物件ともに少ない。
- ・他方、広島県、鳥取県の仕事量は豊富で、稼働率が100%を超えるファブもある。
- ・価格は高位安定状態であるが、材料価格が上がっている中で加工費が食われる形になっている。

#### [四国]

- ・大きな変化はないが、仕事量は若干増加傾向にある。
- ・工事全体の工程遅れの影響で、工場の工程調整に苦労している。
- ・関東、大阪物件を手がけているファブは良いが、地元物件に依存しているファブは、仕事を相互に融通して凌いでいる。

#### [九州]

- ・6月5日に支部会を開催した。各県とも理事長ほか役員の若返りが目立つ。
- ・需要は多く多忙で、事業概況は素晴らしい状態が続いている。
- ・熊本県では、災害復旧工事で大変な状況が続いており、熊本市発注物件の見積有料化を目指していたが、休止状態になっている。

○以上をふまえて、米森会長が以下のとおり総括された。

- ・仕事量は全般的に多いようであるが、地域差もあり、受注量や稼働率には山谷が生じる。お互いに仕事を融通し合って山積みの調整を行い、価格を守っていくことが大切である。
- ・材料遅れ、工程変更などが全国的に問題となっているが、このようなリスクは価格に反映していただきたい。
- ・一部の県の組合総会に出席させていただいているが、世代交代が進んでいることを実感している。若手に対する教育がますます重要になっているので、人材育成・教育には今後も重点的に取組みたい。設立準備中の鉄骨技術者教育センターの活用も考えている。
- ・同センターの設立準備は、村山副会長、中村理事のご尽力で着々と進んでいる。共同事業者である鉄建協との関係も良好で、この関係を続けていきたい。
- ・同センターが活動を始めると、委員会も複数立ちあげることになると予想され、退任した役員の再起用も含め、多くのご支援をお願いすることとなるのでご協力をお願いしたい。

#### (8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、その他の事項とも、予定された全ての事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

会 長	米 森	昭 夫
副 会 長	玉 木	信 介
専務理事	齊 藤	眞
理 事	中 村	泰 男
〃	小 山 田	周 右
〃	岸 部	直 喜
〃	亀 谷	光 彦
〃	大 島	嗣 雄
〃	伊 藤	佳 治
〃	高 橋	伸 和
〃	多 田	弘 志
〃	野 田	博 文
〃	竹 原	巖
〃	大 橋	利 勝
監 事	村 上	眞 樹
〃	藤 原	勝 彦

理事総数 15名 うち出席者 14名 (欠席：村山副会長)

監事総数 2名 うち出席者 2名